



## 第13回 等々力祭

### 13年間の思いを込めて

第13回 東京都市大学 等々力祭実行委員会 会長  
都市生活学部 都市生活学科 3年 小杉 実鈴



今年度の等々力祭は「ツナグ」というテーマのもと、オンライン開催いたしました。昨年度は中止となり学園祭運営のノウハウがあまり無いことに加え、未経験の開催方法、対面での準備期間が短いという中で開催できたのは、ご協力いただいた全ての方と共に頑張ってくれた部員のおかげです。本当にありがとうございました。

8月頃まで、お客さんがキャンパスに来場できる対面とオンラインのハイブリッド開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症により登学ができないかと思うように学園祭の準備も進まず、完全オンライン開催に決定しました。キャンパス移転により最後の等々力祭ということで、対面で来場者の方々と交流がしたいという想いが強くあったため、心残りではありますが、YouTubeのチャットや投票機能を使用したオンラインだからこそできる方法で、視聴者の方と一緒に楽しみ、想いをツナグことができたとと思います。

最初は、等々力祭にはPCや配信に詳しい人が少ない、子どもが生配信で楽しむことが難しそうという不安だらけでしたが、みんなで試行錯誤し、「ゆめのマイホームコンテスト」や「おもちゃ王国」などの小さなお子様向けの企画、「おもいでAR」や3キャンパス合同企画のMINECLIFTを用いた「迷宮」等々力キャンパス～目指せ脱出～などのOBOGの方も楽しめるような新たな試みもあり、子供向けの心温まる雰囲気の等々力祭らしさに加えてフィナーレを意識した学園祭になったと思います。多くの人に支えられ協力し不安を打破する、改めて人との繋がりの偉大さを感じる等々力祭でした。

来年度から等々力祭実行委員会の後輩たちは世田谷祭を作る一員となります。等々力祭が終わってしまうことは寂しく感じますが、それぞれのキャンパスで活躍してきた実行委員たちが、力を合わせ、より素敵な学園祭をつくっていきますので、来年度以降も東京都市大学の学園祭へご参加いただければ嬉しいです。

#### 事務局だより

後援会会員の皆様には、日頃より大学行事ならびに課外活動に対してご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。世界共通の災難に見舞われ2年が過ぎようとしていますが、大学としては学生の健康や安全とともに教育を停滞させないために試行錯誤し、完全な遠隔授業をはじめ感染防止対策のステージに応じたハイブリッド型授業など、刻々と変化する情勢にリアルタイムに対応する教育システムを確立するに至りました。

一方、学生に対し感染、発症、重症化のリスクを軽減することが期待されるワクチンの職域接種も早くから提供を開始するなどの

対応も進められてきました。遠隔や対面を通じて学生同士の交流をいかに深めるかは今なお課題ではありますが、大学としても積極的に支援をしていきたいと存じます。

コロナ禍対応のみならず新しい時代に対応した学生支援に向けて後援会の皆様とともに探求してまいりたいと存じます。引き続きのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

横浜キャンパス副学生部長  
環境学部環境創生学科 主任教授  
飯島 健太郎

